

平成 20 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 大植 賢治「運動の認識における身体内部および外部への能動的注意が脳活動に及ぼす影響」
2. 川崎 翼「身体位置関係の認識と立位姿勢バランス能力の関連性」
3. 河野 正志「道具の観察における上肢の位置が運動イメージに及ぼす影響」
4. 高濱 宏「高齢者における固有感覚を基にした上肢の知覚学習に関する研究」
5. 谷口 博「プリズム順応課題の脳活動と治療効果」
6. 中野 英樹「立位姿勢制御に効果的に作用する足底の知覚学習に関する研究」
7. 信迫 悟志「視線方向認知の脳内機構とその課題の臨床効果に関する研究」
8. 林部 美紀「動作観察時の作業療法士と作業療法学生の視点の相違」
9. 藤田 浩之「足底知覚学習課題が後期高齢者の立位姿勢バランスに及ぼす効果」
10. 藤本 昌央「運動イメージの鮮明化に影響する言語の分析」
11. 前井 千早「介護老人保健施設における認知症ケアの現状と今後の課題」
12. 松下真一郎「自閉症スペクトラムにおける聴覚的リズムの視覚的情報処理とその特徴」

平成 21 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 河村 民平「ワーキングメモリ容量の違いが音声言語情報処理およびその聴覚ラテラルティに及ぼす影響 –Dichotic Listening Test を用いた検討–」
2. 熊谷奈緒子「錯視課題における眼球運動の特徴–自閉症スペクトラムと定型発達児の比較–」
3. 河村 章史「Differential activation between externally-triggered and self-initiated movements: Motor execution and motor imagery」
4. 十河 彩子「ワーキングメモリ課題の難易度による脳活動の違いとストレス反応との関係」
5. 平松 佑一「言語情報の提示が上肢の運動制御に及ぼす影響」
6. 湯川 喜裕「脳卒中片麻痺患者における振動誘発運動感覚錯覚中の脳活動」
7. 吉田 慎一「空間の差異が脳活動に及ぼす影響 –近位空間と遠位空間の比較–」

平成 22 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 上原 貴廣「片脚立位安定性が非支持脚からの体性感覚入力・処理に与える影響」
2. 大槻 哲也「予測困難な外乱が立位姿勢制御に及ぼす影響-負荷強度および空間の観点から-」
3. 河石 優「歩行中における床面素材の変化に対する適応過程」
4. 佐藤 剛介「脊髄損傷者の運動イメージ能力の検討」
5. 清水 重和「道具の観察及びシミュレーションが脳活動に与える影響」
6. 末吉 夏子「位置弁別課題がヒラメ筋 H 反射と体性感覚誘発電位(SEP)に及ぼす影響」
7. 高木 泰宏「視覚情報提示による自己運動錯覚が脳活動に与える影響」
8. 若田 哲史「道具の部位がパントマイム及び実使用時の脳活動に与える影響」
9. 脇田 正徳「変形性股関節症患者の運動イメージ能力の検討」

平成 23 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 植田 耕造「正常歩行と揃い型歩行の大脳皮質活動」
2. 大住 倫弘「痛みの内的体験の慣れにおける脳活動」
3. 尾崎 新平「意図的および偶発的学習条件の違いが運動学習の保持・転移に及ぼす影響」
4. 草場 正彦「上肢到達・把握運動における観察部位の違いが脳活動に及ぼす影響」
5. 千代原真哉「連続的運動学習が安静時脳活動に及ぼす影響」
6. 永幡 哲也「optic flow が立位姿勢における外乱応答に及ぼす影響」
7. 板東 正記「人工膝関節置換術前後における運動イメージの変化と影響を及ぼす因子」

平成 24 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 小澤加奈子 「試験におけるケアレスミスの原因 – 注意機能と性格特性の要因からの検証 –」
2. 千賀 唯 「Rubber hand illusion によって誘発された錯覚の強さとモダリティとの関係」
3. 岸浦有美子 「サブリミナル刺激による顔表情の潜在知覚と痛みの感受性について」
4. 青木 智子 「サブリミナルプライミングによる自動的な反応選択時の脳活動」
5. 大松 聡子 「ペダリング運動前後における情動、セロトニン神経活動と脳活動の変化」
6. 幸田 仁志 「車椅子座位における殿部への外力軽減のためのシーティングメカニズムの検討」
7. 此上 剛健 「脳性両麻痺児の運動イメージとその関連因子の調査」
8. 豊田 有紀 「脳卒中片麻痺者における運動錯覚誘起の有無と脳損傷部位および身体機能の関係性」
9. 福井 祥二 「ミラーセラピー時の上肢皮膚温変化 – 手の左右認識課題との関連 –」

平成 25 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 山田めぐみ 「Star Excursion Balance Test 中支持脚膝関節の運動解析」
2. 宗宮ゆりえ 「触覚の弁別が α 運動ニューロンの興奮性に及ぼす影響」
3. 辻本 憲吾 「運動視刺激を用いたボトムアップおよびトップダウン的注意喚起が脳波活動に及ぼす影響」
4. 中井 秀樹 「過去の呼吸経験により形成された予測情報とその後の呼吸困難感に及ぼす影響」
5. 藤原 菜津 「跨ぎ動作による障害物回避計画時の脳活動」
6. 淵上 健 「自己と他者の歩行観察における脳活動について」
7. 宮崎 有希 「身体部位に関連した動詞が運動と運動準備に与える影響 – 事象関連電位を用いて –」

平成 26 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 浅野 大喜「運動障害をもつ子どもの身体イメージと運動機能の関係」
2. 石垣 智也「Light Touch 効果に関する脳活動の検討 -脳波周波数解析を用いて-」
3. 今井 亮太「橈骨遠位端骨折術後に対する腱振動刺激による運動錯覚が急性疼痛に与える効果」
4. 大門 恭平「2 者の対話における共感に関連する要因の検討」
5. 尾川 達也「ライフゴール概念を取り入れた目標設定が入院患者のネガティブ感情とリハビリテーションへの参加意欲に与える影響 - 準ランダム化比較試験による検討 -」
6. 菅沼 惇一「高所による恐怖環境が静止立位中の sensory reweighting に与える影響」
7. 保屋野健悟「視点取得と談話機能の関係 - ポライトネス理論からの検討 -」
8. 湯田 智久「ラバーハンド錯覚が手容積に与える影響の検討」
9. 脇 聡子「歩行開始時における補足運動野の活動 - 運動準備電位を用いて -」

平成 27 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 赤口 諒「妬み経験が主観的痛みに与える影響 - 脳波を用いて -」
2. 片山 脩「感覚 - 運動の不一致により惹起される異常知覚の要因」
3. 坂内 掌「定量化された脳卒中患者の麻痺肢の運動意図と麻痺肢の運動機能・使用頻度および機能改善との関係」
4. 塩崎 智之「主観的身体垂直のエラー顕在化時の脳活動について - 視覚情報を用いた顕在化の検討 -」
5. 高村 優作「Studies on the recovery process after unilateral spatial neglect: intentional gaze shift to the neglected space as a compensatory strategy」
6. 竹下 和良「車いす駆動様式の違いが大脳皮質活動に及ぼす影響 - 機能的近赤外線分光法を用いた検討 -」
7. 田中 陽一「ソーシャルスキルが痛み感受性に与える影響」
8. 中田 佳佑「身体意識の変容に伴う身体近傍空間の知覚の変化」
9. 中谷 友紀「運動学習課題における運動予測の可否が気分及ぼす影響」
10. 安田 夏盛「認知課題における疼痛抑制メカニズムの検証 - 生化学検査を用いて -」
11. 山本 浩人「適応的運動学習における時間的・空間的制御に関連した課題前安静時脳活動の検討 - power spectrum 解析を用いて -」

平成 28 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 上田 将吾「名詞の視覚提示が上肢の把持・挙上動作の制御に及ぼす影響」
2. 楠元 史「変形性膝関節症患者における歩行時の自己身体認識能力の検討
- バイオロジカルモーション課題を用いて -」
3. 重藤 隼人「徒手牽引が有する鎮痛効果の検証 - 信号検出理論を用いて -」
4. 首藤 隆志「運動観察干渉課題とミラーニューロンシステムとの関連性」
5. 西 勇樹「交感神経活動及び情動の変調と内受容感覚の精度の関係性」
6. 西 祐樹「Psychological and personality traits related to maladaptive pain-related avoidance behavior: a novel fear-conditioning paradigm」
7. 藤井慎太郎「半側空間無視における反応時間の空間分布特性 - 注意障害と無視症状の関連とその回復特性 -」
8. 藤橋 亮介「腱振動刺激による運動錯覚を効果的に惹起させる手続きの検討 - 錯覚経験が与える影響に着目して -」

■ 松尾研究室

1. 佐藤 洋平「身体言語の表出に関わる神経機構
- 身体言語は音声言語と共通の神経基盤を持つか? -」

■ 冷水研究室

1. 林 修平「自己身体知覚の正確性と姿勢制御能力の関係性の検証」

平成 29 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 水田 直道「脳卒中後症例における歩行速度と運動麻痺の関連性
－運動学／筋電図学的な側面からの検討－」
2. 田中 創「変形性膝関節症患者における5ヵ月後の能力障害の予測因子の検証
－痛み関連因子に着目して－」
3. 山道 菜未「固定物およびヒトに対するライトタッチによる立位姿勢制御特性
－周波数成分に着目して－」
4. 大西功一郎「在宅要介護認定者の生活空間における活動性の実態とその類型化
－クラスター解析による閉じこもりタイプ分類の試み－」
5. 林田 一輝「他者との目的共有が運動主体感と運動学習に及ぼす影響」

■ 松尾研究室

1. 嶋原 孝博「ランダムノイズ刺激が足底感覚に与える影響」

■ 冷水研究室

1. 西脇 寿弥「回復期脳卒中患者における二重課題遂行能力に影響を与える因子の検討」

平成 30 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 大竹 康平「地域に在住するパーキンソン病者の歩行分析」
2. 玉木 義規「道具の新奇性および行為の要求が道具観察時の視線探索に与える影響」
3. 寺田 萌「模倣障害症例における自動詞ジェスチャー模倣に関わる注視特性」
4. 藤井 廉「腰痛を持つ労働者の重量物持ち上げ動作の動作特性－痛み関連因子に着目して－」
5. 舞田 大輔「行動学的視点から観察した運動イメージと視覚的運動錯覚の等価性」

■ 岡田研究室

1. 蓮井 成仁「脳卒中患者の歩行障害に対して短下肢装具の足継手の差異が及ぼす影響」

■ 信迫研究室

1. 長倉 侑祐「急性期・亜急性期疼痛患者における内受容感覚の精度と罹患期間および心理的特性との関係性について」

令和元年度修了生

■ 森岡研究室

1. 古賀 優之「中枢性感作関連症状と痛みの関係性」
2. 町野 豊「静止立位中の足圧中心動揺の随意的制御と自動的制御における視覚情報の影響」
3. 秋田 貴之「足底知覚課題が姿勢バランスに与える周波数の変化—重心動揺計を用いて—」
4. 田中 美伎「画像特性に応じた視線行動と神経活動の特徴」
5. 福地 宇宙「運動経験時の目的が運動共鳴に及ぼす影響」
6. 渡辺 拓也「脳卒中後抑うつに関連する要因の予備的調査 —首尾一貫感覚を含めた検討—」

■ 岡田研究室

1. 田中 宏明「直流前庭電気刺激を用いた前庭脊髄路機能評価に対する肢位の影響」
2. 浦上 英之「すくみ足があるパーキンソン病患者の歩行中の前方不安定性に関する運動学的・運動力学的分析」

■ 信迫研究室

1. 辰巳 光世「小児における歯肉炎、プラーク、及び口腔内表象との関係」

令和2年度修了生

■ 森岡研究室

1. 寺澤雄太「姿勢および足底知覚情報の変化が脊髄運動ニューロンの興奮性に及ぼす影響」
2. 山岡竜也「脳卒中後患者における静止立位時の姿勢制御特性と歩行開始時の予測的姿勢調節の関係」
3. 乾 康浩「障害者支援施設における運動への動機づけとソーシャルサポート」
4. 戸嶋和也「上肢運動機能における運動学習の加齢変化の特徴 —視覚運動課題を用いた検討—」

■ 信迫研究室

1. 片岡 新「就学前年長児における平仮名・片仮名視写能力に影響する発達特性の検討—書字判読性課題を用いて—」
2. 北後理夏「視覚経験や使用経験が形態認知のサブリミナル効果に与える影響」

■ 大住研究室

1. 井川祐樹「痛みへの恐怖における連合学習が運動制御に与える影響とその個人の心理的特性について —運動学的解析を用いて—」
1. 松田総一郎「感覚運動の不一致によって生じる異常感覚が体幹の筋活動や痛みの慢性化に与える影響」

令和3年度修了生

■ 森岡研究室

1. 池田法子「被殻出血患者における機能回復過程と歩行自立度との関連性」
2. 岩淵翔一「行動観察課題の低速提示がミラーニューロンシステムの活動に及ぼす影響」
3. 小松健矢「ステップ動作時の痛み関連恐怖が予測的姿勢調節に及ぼす影響」
4. 田中智哉「Influence of Context by Verbal Suggestion and Body Appearance on Sense of Ownership and Pain Threshold: Using the Rubber Hand Illusion Paradigm」
5. 中西康二「静止立位時の随意的制御と自動的制御における下腿筋の共収縮と筋内・筋間コヒーレンスの違い」
6. 藤田 匠「運動・感覚不一致に基づく運動制御の乱れの特徴」

■ 冷水研究室

1. 大塚健太「予測可/否条件における異なる距離ステップ動作が予測的姿勢制御反応に与える影響に関する検証」
2. 金 起徹「学習スキルおよび課題難易度に応じたブロック/ランダム練習による練習スケジュールの違いが立位バランス学習効果に及ぼす影響に関する検証」

■ 岡田研究室

1. 甲斐太陽「パーキンソン病患者における入院時・退院後の身体活動の検証」
2. 菅野恭平「パーキンソン病における歩行の運動イメージとその関連要因—メンタルクロノメトリ法を用いた検討—」

■ 信迫研究室

1. 阪上奈巳「出生状況の違いによる乳幼児の Calming Responses」
2. 平松良規「視聴覚刺激の空間的一致／不一致が健常者と半側空間無視患者の視線移動に及ぼす影響」

■ 大住研究室

1. 浦上慎司「脳卒中後疼痛における痛みの性質に基づくサブグループ解析とリハビリテーション予後」

令和4年度修了生

■ 森岡研究室

1. 大角駿介（指導教員 森岡 周）
「把握動作に影響する反対側上肢の感覚情報－対象部のサイズと距離の情報－」
2. 深作哲貴（指導教員 森岡 周）
「高齢者の運動主体感と身体機能，活動量，介護量との関係」
3. 南川勇二（指導教員 森岡 周）
「亜急性期脳卒中患者の日常生活における上肢活動量の分布特性の把握
－3軸加速度計を用いて－」
4. 山口有紀（指導教員 森岡 周）
「異なる姿勢制御戦略による摂動に対する応答の違い
－予測的および代償的姿勢調整の観点から－」

■ 岡田研究室

1. 奥田悠太（指導教員 岡田洋平）
「小脳変性疾患患者における最大前後重心移動の制御特性」
2. 長尾綾菜（指導教員 岡田洋平）
「静止立位における平衡保持の余裕に関する新たな指標」
3. 若林 汰（指導教員 岡田洋平）
「手すりへの把持反応が外乱に対する下肢の姿勢反応に及ぼす影響について」

■ 信迫研究室

1. 福西知史（指導教員 信迫悟志）
「算数障害リスク児における生得的数覚」

令和5年度修了生

■ 森岡研究室

1. 佐藤 悠樹 (指導教員 森岡 周)
「小脳への経頭蓋直流電気刺激が脊髄運動ニューロンおよび前庭脊髄路の興奮性に及ぼす影響」
2. 立石 貴樹 (指導教員 森岡 周)
「回復期脳卒中患者における Split-belt 歩行課題の運動学および神経筋制御変化：低速ベルトと高速ベルト条件の比較」
3. 三枝 信吾 (指導教員 森岡 周)
「亜急性期脳卒中者が重要視する歩行能力の内容と理由 - 半構造化面接法を用いた質的研究 -」
4. 海藤公太郎 (指導教員 森岡 周)
「運動恐怖が体幹屈曲-伸展課題における脊柱の運動学的指標に与える影響 ～痛み恐怖条件付けパラダイムを用いて～」
5. 北郷 龍也 (指導教員 森岡 周)
「脳卒中患者の歩行制御特性 - 二重課題歩行時の不安定性に関わる要因 -」

■ 松尾研究室

1. 山口 留亜 (指導教員 松尾 篤)
「読書経験が共感能力に及ぼす影響 ～共感能力評価尺度の開発を含めて～」

■ 岡田研究室

1. 藤田 大輝 (指導教員 岡田洋平)
「加齢が姿勢制御に寄与する感覚の統合および異なる感覚条件の立位姿勢制御に及ぼす影響」
2. 福永 大智 (指導教員 岡田洋平)
「脳卒中患者の歩行自立の可否に関連する立位バランスの特性」

■ 信迫研究室

1. 藤堂 愛 (指導教員 信迫悟志)
「ゴールボール日本代表強化指定選手における傷害調査」
2. 仲西 朝美 (指導教員 信迫悟志)
「高齢者の転倒と自己身体能力認識との関連性」

■ 大住研究室

1. 岩井 健 (指導教員 大住倫弘)
「Numbness illusion における手指の“しびれ”体験が主観的な痛み知覚に及ぼす影響 - 脳波を用いて -」
2. 木下 栞 (指導教員 大住倫弘)
「Mirror Visual Feedback が脳-筋コヒーレンスをどのように修飾するか - 健常者と症例3名の対比的観察 -」